

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第32期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社Z O A
【英訳名】	ZOA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊井 一史
【本店の所在の場所】	静岡県沼津市大諏訪719番地
【電話番号】	055-922-1975（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 松森 建次
【最寄りの連絡場所】	静岡県沼津市大諏訪719番地
【電話番号】	055-922-1975（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 松森 建次
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第3四半期 累計期間	第32期 第3四半期 累計期間	第31期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	8,800,278	9,437,284	12,087,253
経常利益(千円)	43,323	88,793	72,397
四半期(当期)純利益(千円)	22,235	54,917	42,662
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金(千円)	331,986	331,986	331,986
発行済株式総数(株)	22,965	2,296,500	22,965
純資産額(千円)	1,998,366	2,028,753	2,015,496
総資産額(千円)	5,208,429	5,579,202	4,848,663
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	10.64	26.36	20.42
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	2,000
自己資本比率(%)	38.4	36.4	41.6

回次	第31期 第3四半期 会計期間	第32期 第3四半期 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	7.36	16.94

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

5. 平成25年10月1日付で1株につき100株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において、当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日本銀行による経済対策や金融緩和政策を背景とした株価上昇や円安の進行により、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、個人消費については所得の伸び悩みや物価上昇傾向に伴う家計負担増加への懸念等を背景に大幅な改善は見られませんでした。

パソコン業界においては、電子情報技術産業協会（J E I T A）の発表によると、パソコンの国内出荷台数は前年同期比0.5%、出荷金額は5.8%の増加となりました。

バイク業界においては、日本自動車工業会（J A M A）の統計によると、二輪車の国内出荷台数は前年に比べてわずかに増加しております。

このような状況下で当社は、パソコン事業においては、WindowsXP買い替え需要を確実に獲得するために、最新OSのWindows 8のみならず、いまだにニーズの高い前OSのWindows 7を搭載したパソコン本体の在庫を確保することでお客様のニーズに合った商品提供に努めてまいりました。また、サポート面でも会員制Z O A倶楽部の加入者向けに、データ移行や不要なパソコンの引き取りをセットで提供するサービス「XP買い替えパック」を展開し、買い替えの促進を図ってまいりました。その結果、パソコン事業全体の売上高は前年同期比1.4%の増加となりました。

バイク事業においては、ジャケット・ヘルメットの品揃えの充実と、カーナビの取り扱いメーカー拡大により売上高は増加傾向にあります。その他、海外製のバイク用バッテリーを格安で展開することで、お客様に好評を得ております。今後も、お客様のニーズに適した品揃えの強化を図り、安定した売上の拡大に取り組んでまいります。その結果、バイク事業全体の売上高は前年同期比8.3%の増加となりました。

インターネット通信販売事業においては、仕入交渉の強化によりパソコン本体や一眼レフデジカメ等の魅力ある商品の調達を行うことができ、売上高は好調に推移しております。その他、カー用品の取り扱いも新たに開始しました。お客様には好評で、徐々に売上高を伸ばしております。その結果、インターネット通信販売事業の売上高は前年同期比24.7%の増加となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績については、売上高9,437,284千円（前年同期比7.2%増）、経常利益88,793千円（前年同期比105.0%増）、四半期純利益54,917千円（前年同期比147.0%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期会計期間末における総資産は、前期末に比べて730,538千円増加し、5,579,202千円となりました。その主たる要因は、商品が752,910千円、売掛金が26,364千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債については、前期末に比べて717,281千円増加し、3,550,448千円となりました。その主たる要因は、買掛金が655,731千円、短期借入金100,000千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産については、前期末に比べて13,257千円増加し、2,028,753千円となりました。この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は36.4%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,100,000
計	8,100,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,296,500	2,296,500	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,296,500	2,296,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年10月1日 (注)	2,273,535	2,296,500		331,986		323,753

(注) 株式分割(1:100)によるものであります。なお、同時に1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,135		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,830	20,830	同上
単元未満株式			
発行済株式総数	22,965		
総株主の議決権		20,830	

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ZOA	静岡県沼津市大諏訪719番地	2,135	-	2,135	9.30
計		2,135	-	2,135	9.30

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役社長 (代表取締役)	オンラインビジネス本部長	長嶋 豊	平成25年8月3日

(注) 平成25年8月3日逝去により退任いたしました。

(2) 役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
代表取締役社長	営業本部長	取締役	業務本部長兼営業推進グループマネージャー兼業務推進グループマネージャー	伊井 一史	平成25年8月7日

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成していません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,177,692	1,156,587
売掛金	406,990	433,355
商品	1,807,900	2,560,811
その他	145,401	159,576
貸倒引当金	4,056	4,319
流動資産合計	3,533,929	4,306,012
固定資産		
有形固定資産		
土地	654,403	654,403
その他(純額)	280,573	266,427
有形固定資産合計	934,976	920,831
無形固定資産	13,062	13,564
投資その他の資産		
その他	368,574	340,672
貸倒引当金	1,879	1,879
投資その他の資産合計	366,695	338,793
固定資産合計	1,314,734	1,273,189
資産合計	4,848,663	5,579,202
負債の部		
流動負債		
買掛金	825,636	1,481,367
短期借入金	-	100,000
1年内返済予定の長期借入金	650,360	443,661
未払法人税等	6,669	36,267
賞与引当金	35,106	14,426
ポイント引当金	14,271	9,738
その他	160,670	138,651
流動負債合計	1,692,714	2,224,112
固定負債		
長期借入金	1,023,823	1,225,275
長期未払金	24,249	8,916
退職給付引当金	92,380	92,145
固定負債合計	1,140,452	1,326,336
負債合計	2,833,167	3,550,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	323,753	323,753
利益剰余金	1,506,743	1,520,000
自己株式	146,987	146,987
株主資本合計	2,015,496	2,028,753
純資産合計	2,015,496	2,028,753
負債純資産合計	4,848,663	5,579,202

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	8,800,278	9,437,284
売上原価	7,449,557	8,032,784
売上総利益	1,350,721	1,404,499
販売費及び一般管理費	1,303,696	1,312,248
営業利益	47,024	92,250
営業外収益		
受取手数料	9,637	9,094
受取保険金	99	675
その他	209	342
営業外収益合計	9,946	10,112
営業外費用		
支払利息	13,249	12,945
その他	398	623
営業外費用合計	13,648	13,569
経常利益	43,323	88,793
税引前四半期純利益	43,323	88,793
法人税等	21,087	33,876
四半期純利益	22,235	54,917

【注記事項】

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	26,540千円	26,512千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	41,816	2,000	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	41,660	2,000	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

当社は、パソコンを中心とした小売業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	10円64銭	26円36銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	22,235	54,917
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	22,235	54,917
普通株式の期中平均株式数(株)	2,090,397	2,083,000

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月13日

株式会社Z O A

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小竹 伸幸 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 守谷 義広 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社Z O Aの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第32期事業年度の第3四半期会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社Z O Aの平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。